

第13回 建築人賞 発表

主催：公益社団法人大阪府建築士会

●目的

公益社団法人大阪府建築士会では会報誌「建築人」を毎月発行しており、2021年4月には第682号を数えました。本会の会員にとって重要な情報提供を行うとともに、建築作品発表の機会を設け、建築技術の普及や会員の相互研鑽に寄与することを目指しています。

「建築人賞」は「建築人」のGALLERY頁に掲載された全作品の中から特に機能性、社会性、デザイン性、先進性などにおいて優れたものを顕彰することで、建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的とし、「建築人」のプレゼンスをより高めていくことを意図して創設された賞です。

●審査経過

審査は公平性を重視するため、主に関西以外を拠点として活躍する建築関係者、学識経験者をお願いしています。第13回は建築ジャーナリストの磯達雄氏を審査委員長としてお迎えしました。

今回の審査は2020年に掲載された作品19点が対象となりました。一次審査は誌面より一般・住宅部門を合わせて計10作品を選出(うち1点ご辞退)、その後、設計者から追加で提出された詳細資料をもとに二次審査を行い、最終的に建築人賞2点、奨励賞3点、佳作1点が選出されました。

入選作品は、いずれもその機能性、デザイン性、社会性などが高く評価されたものですが、これらを表彰し公表することによって、社会に対して建築の魅力や価値を発信し、建築文化の醸成に寄与できるものと考えています。また今後より多くの方に参加頂き、建築人賞が大阪から魅力ある建築情報を発信する動機として成長発展していくよう祈念しています。

建築情報部門長 飯田英二

実施要項及び経過

●対象作品

会報誌建築人2020年1月号～2020年12月号「GALLERY」掲載作品19点

●審査

第一次審査(19点から10点選出(うち1点ご辞退)) 第二次審査(6点選出)

●表彰式

令和3年度定時総会・式典 席上 日時/令和3年5月19日(水) 会場/KKRホテル大阪3階

●入賞作品

建築人賞	御幣島ビル	2020年10月号掲載
	LIGHT FALLING	2020年9月号掲載
建築人賞奨励賞	NTN株式会社 和歌山工場	2020年9月号掲載
	武庫川女子大学カヌー部部室棟	2020年12月号掲載
	高槻の家	2020年1月号掲載
建築人賞佳作	大丸心齋橋店本館	2020年4月号掲載



建築人賞記念盾「未来へ！」
ガラスアーティスト 三浦啓子作

建築人賞 設計者に賞状および記念盾を授与、建築主・施工者に賞状を贈呈
建築人賞奨励賞 建築主・設計者・施工者に賞状を贈呈
建築人賞佳作 建築主・設計者・施工者に賞状を贈呈

審査委員長 磯 達雄



1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP入社『日経アーキテクチャ』編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年 フリックススタジオ共同主宰(～2020)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰

審査総評

今回、初めて建築人賞を審査させていただくこととなったので、まずは簡単な所信表明から。

社会の変化や技術の進歩によって、建築をつくる条件は変わっていく。その変化を受け止めるだけでは、流されてしまう。そうではなくて、受け止めながらも設計する側から何らかの仕掛けを行うによって、その流れの向きや速さが少し変わったりする。そんなささやかな介入を果たすことは、建築の用途や規模によらず、可能なことだろう。そうした企図を設計に盛り込んだ建築を、この建築人賞では積極的に評価していきたいと考える。この賞を通じて、知ることのなかった優れた建築に数多く出会えることを期待している。

審査の経過について、簡単に記しておく。選考はこれまでにならって、二段階で行った。まず『建築人』2020年1月号から12月号のギャラリー欄に掲載された、全19作品を対象として一次審査を行った。これは『建築人』の誌面をもとに、10作品を選んだ。ただしこのうち1作品については、建築人賞選考の事務手続きに関わっているとの理由で、設計者の側から選考辞退が表明されたため、これを承諾し、9作品を二次審査へ

通過させた。

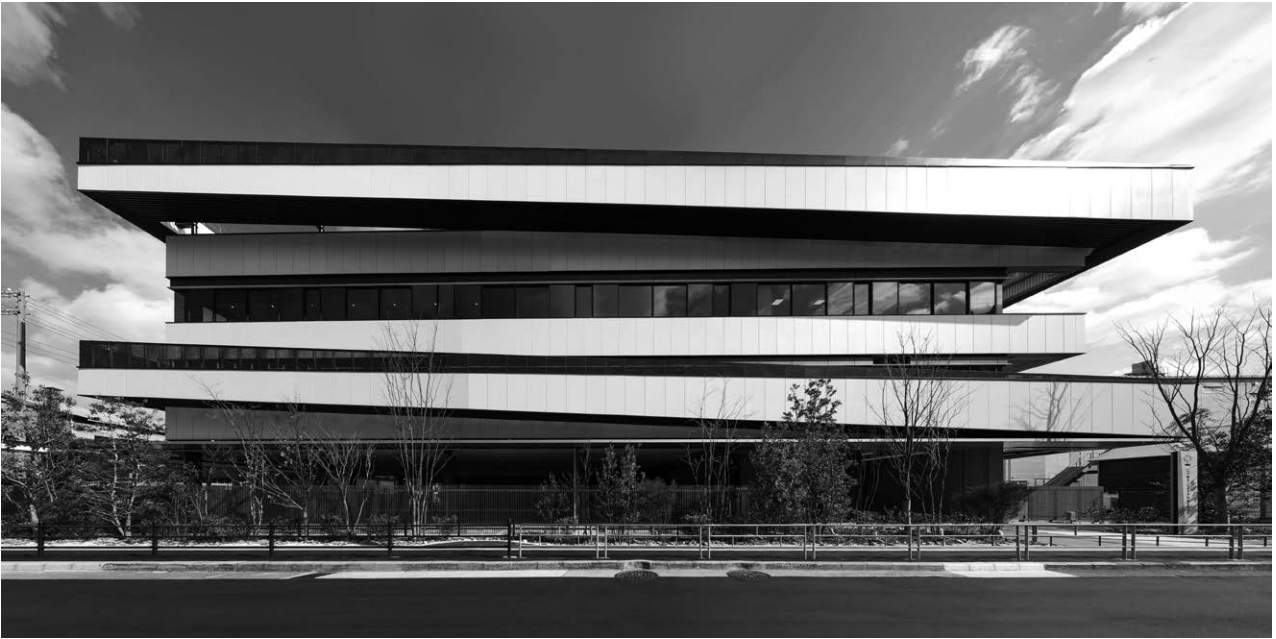
最終となる二次審査では、各作品の設計者から追加で設計を説明する資料を提出してもらい、それをもとに審査を行った。そしてこれまで通り、一般部門と住宅部門のそれぞれについて、建築人賞、建築人賞奨励賞、建築人賞佳作を選出する方針で、審査にあたった。

建築人賞の二次審査では、歴代の審査員によってそれぞれにやり方に工夫がこらされてきたと聞いている。対象作を実際に訪れたり、設計者と質疑応答を行ったり、大阪在住の建築家からアドバイスをもらったりである。今回もそのような試みが採れるとよかったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、行うことがかなわなかった。

一般論として建築賞の意義は、単に優れた建築を選んで顕彰するだけでなく、その選考過程や結果を受けて、さまざまなレベルのディスカッションが起こることにあると考える。ディスカッションの参加者は、審査員のみならず、応募者や第三者にも及ぶ。そうした対話によって、建築はより多くの人に開かれたものとなっていくはずである。次回の審査では、なんらかの方法でディスカッションやコミュニケーションが図れる方法を実現させてみたいと思う。

なお今回は、新型コロナウイルス感染症の影響からか、エントリーした作品の数自体が少ない。特に住宅の部門は3作品しかなかった。その中から賞を出してよいのかどうか、迷いと不安があったが、結果的には授賞に値すること作品を、一定の数、選び出すことができたと考えている。その点では、ホッと胸をなで下ろしている。

建築人賞 御幣島ビル



【選評】

9割近くの社員が心身に何らかの障害を抱えているという、特例子会社の本社オフィス。外観で目を引くのは、建物の四周を取り巻くスロープだ。これが車椅子使用者を火災時には地上まで、水害時にはホバリングスペースのある屋上まで、自力で避難できるようにしている。内部でも緩勾配の階段にスロープを併設したり、廊下の交差点部に隅切りとミラーを兼ねたサインを付けたりしている。これらは障害者に限らず、すべての利用者に快適さをもたらすものだ。バリアフリーは建築を縛るのではなく、可能性を広げてくれる。それを示した作品である。

設計／大林組大阪本店一級建築士事務所
施工／大林組

建築位置／大阪府大阪市
竣工年月／2020年1月
用途／事務所・印刷工場
構造・規模／鉄骨造
敷地面積／3,602.50㎡

建築面積／2,498.35㎡
延床面積／8,863.53㎡
写真／河合止場・浅田美浩
建築人 2020年10月号掲載

建築人賞 LIGHT FALLING



【選評】

間口が狭い敷地で前面道路側に自動車2台や大型バイクを置く必要があったため、庭はほとんど取ることができない。そのかわりに1階のリビングルームまわりに階段と合わせて水盤を設け、トップライトからの自然光を採り入れることで、屋内に庭園のようなランドスケープを生み出した。細長い床面を中廊下でさらに細切れにした2階平面や、天井高を抑えた和室をガレージの上にオーバーハングさせた断面の設計も巧みだ。浴室や屋上で外部環境に触れられる仕掛けも、気持ち良さそう。限られた容積の中に、楽しめる場所を詰め合わせた住宅である。

設計／マニエラ建築設計事務所
施工／西友建設

構造設計／土屋設計
建築位置／大阪府箕面市
竣工年月／2020年5月
用途／専用住宅
構造・規模／木造 地上2階建

敷地面積／115.12㎡
建築面積／58.17㎡
延床面積／107.32㎡
写真／喜多章
建築人 2020年9月号掲載

建築人賞奨励賞 NTN 株式会社 和歌山工場

【選評】

大手ベアリング・メーカーの工場である。約5万㎡の建築面積を覆うのは、大きな弧を描く鋼板の大屋根で、コーポレート・スローガンの「なんてなめらか」を体現している。内部には長さ300mにわたって「コロコロード」と名付けられた空間が建物を貫く。長大な吹き抜けの通路だが、これに面して設けられた多様なミーティング・スペースが、ヒューマン・スケールを与えている。加えてここは、自動搬送車が通行する動線でもある。建築はもはや人間だけのものではなく、人間とロボットが共存するところとなっている。そんなことを考えさせる建築だ。

設計／竹中工務店	建築位置／和歌山県橋本市	敷地面積／109,142.19㎡
施工／竹中工務店	竣工年月／2020年4月	建築面積／50,603.58㎡
	用途／精密機械製作工場 (ベアリング)	延床面積／65,032.01㎡
	構造・規模／S造 B0・F2・P0	写真／フォト・ビュロー 庄野新



建築人賞奨励賞 武庫川女子大学カヌー一部部室棟

【選評】

平面は正三角形のグリッドに乗っており、角度を付けることで1階の艇庫にカヌーを出し入れしやすくなっている。上部に架かるのは木造によるカタナリー構造で、これが2階のトレーニングルームに無柱の大空間を実現した。建物の高さも抑えられ、住宅地の中でボリュームが突出することもない。加えて、開口が不規則に設けられた不思議な形をした外観はマスコット・キャラクターのようであり、可愛らしさもおぼえる。使用者の部員たちが魅力を感じ、地域住民もこの建物があることが少し嬉しいと思えるような、そんな建物ができ上がっている。

設計／竹中工務店	建築位置／兵庫県西宮市	敷地面積／499.01㎡
施工／永瀬	竣工年月／2020年4月	建築面積／274.06㎡
	用途／艇庫・部室	延床面積／488.35㎡
	構造・規模／木造	写真／河田弘樹

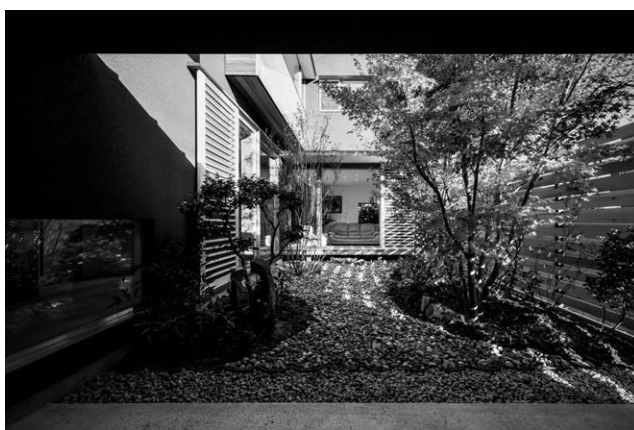


建築人賞奨励賞 高槻の家

【選評】

交通量の多い大通りに面した敷地で、外に向かっては黒い壁を立て、閉鎖的な表情を見せる。しかし、その壁の内側へ入ってしまうと、随所に配された小さな中庭がそれぞれの部屋とつながり、内外の環境が連続する開放的で心地良い居場所が、あちらこちらに散らばっている。動線もしっかりと考えられており、ガレージや犬小屋といった機能も、きちんと組み込まれている。よくできたお手本のような住宅のプランだ。総評で触れた通り、住宅分野の応募作が少なかったが、この作品は建築人賞に準じる質を十分に備えていると認められるものであった。

設計／大西憲司設計工房	建築位置／大阪府高槻市	敷地面積／231.00㎡
施工／西友建設	竣工年月／2019年12月	建築面積／127.86㎡
	用途／専用住宅	延床面積／190.64㎡
	構造・規模／木造2階建	写真／福澤昭嘉



建築人賞佳作 大丸心齋橋店本館

【選評】

御堂筋のランドマークとして長年、親しまれてきた百貨店の建て替えである。ウィリアム・M・ヴォーリスの設計による旧本館の外壁を、二スパンの躯体ごと保存。新たに加えられた高層部は、引いたところに位置させて背景にするともに、旧本館のモチーフを反復させたスクリーンで覆うことで、単調さを逃れている。内装も1階ではオリジナル素材を可能な限り再利用して、アール・デコ調の華麗な装飾を復原した。ネット通販のシェアが拡大するなか、リアル店舗に出かけることの楽しみを、もう一度しっかりと思い起こさせてくれる商業施設だ。

設計／日建設計 竹中工務店	建築位置／大阪市中央区	敷地面積／10,755.72㎡
施工／竹中工務店	竣工年月／2019年9月	建築面積／5,631.51㎡
	用途／百貨店	延床面積／66,367.87㎡
	構造・規模／S造・SRC造 地下3階 地上11階	写真／古川泰造

